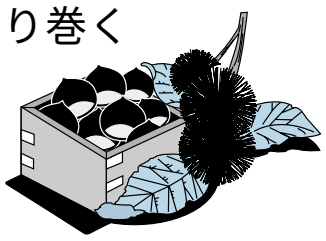
一般質問 市政に望む

今回の定例会では、9月7日、10日、11日、12日の4日間にわたり、25名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案をまじえながら、市長などの考えをただしました。

質問、答弁の要旨は次のとおりです。



南橋周辺の渋滞解消を図れ

おさむら敏明（自由民主党）

問 介護施設における介護職等の人材不足に関する実態調査より。介護職不足は深刻な状況である。適切に利用者ケアを提供し、かつ職員の労働環境の確保を求める。

岩崎副市長 福祉職への理解を深めるため、市内の都立高校の先生と介護施設関係者、福祉専門学校との懇談会を八月に行い、一二月に町田市高齢者福祉施設運営協議会と共催してアクティブ福祉in町田二〇〇七を開催します。

問 三塚交差点（町田街道）町田駅方面に左折専用車線を。南橋周辺の渋滞解消が図れると思うが。

町田副市長 現在、東京都において左折レーンの設置に向けて、警察を初めとして関係諸機関と調整を行っているところです。都の予定では、この調整が終わり次第、工事に着工する予定です。

介護保険をもっと使いやすく！

吉村こずえ（民主党・社民ネット）

問 ケアマネージャーにより同居家族の解釈が違い、生活援助が受けられるかどうかプランに差が出てくる。この不公平を改善すべき。

保健介護推進担当部長 介護保険法施行規則などにより考え方が示されており、これに基づき判断しなければなりません。今後も考え方や具体的な事例について、事業者等へより一層の周知に努めます。

問 認知症の理解を深め、本人と家族を地域で支えるために「認知症サポーター一〇〇万人キャラバン」を市として積極的に進めるべき。

保健介護推進担当部長 認知症サポーター一〇〇万人キャラバンの運動を進めるべく、認知症サポーター養成講座を開始していきます。今後も認知症についてさまざまな事業を通して啓発活動を進めていきます。

境川クリーンセンターの今後は

渋谷武己（まちだ新世紀）

問 下水道整備の進捗による今後の境川クリーンセンターの方針を問う。

岩崎副市長 跡地の有効活用については町田市中期経営計画、行政経営改革プランの中でも検討を行い、二〇一一年度までに方針を決定したい。

問 市民が先頭に立ち行った「リサイクル広場」についてどのように受けとめたか。

市長 単なる資源回収という場ではなく、ごみ問題そのものを喚起する場であり、多くの意義があると認識しています。

問 市民に不平等な実態の指定管理者制度についての見直しについて問う。

岩崎副市長 二〇〇六年度の指定管理者の運営評価に関する調書を、各所管課に作成させています。その取りまとめを行い、課題を明らかにして改善に取り組みたい。

災害発生時の対応について

新井克尚（民主党・社民ネット）

問 過去の大震災ではトイレ不足が原因で死者も出た。貯留式四基では足りない。流下型トイレを整備すべき。

防災対策担当参事 今後、避難所の整備充実を図るべく、下水道管直結式のトイレなどについて検討していきたい。

問 緊急電話は職員室だが被災者は体育館。電話断絶時用無線もない。改善すべき。

防災対策担当参事 体育館などの避難施設でも電話回線が引けるよう、施設管理者とも協議して整備を検討していきます。また、情報連絡手段については電話回線以外の機器も含めて検討していきます。

問 真夏の災害時は避難所で熱中症になるおそれが。空調等の設備を整備すべき。

学校教育部長 今後、構造面、設備面の充実について検討し、体育館の立地条件に合った対策の具体化を図りたい。

大規模災害時での安心対策を！

おく栄一（公明党）

問 緊急避難箇所の案内板（誘導板）について。

防災対策担当参事 避難場所の表示看板は一〇四カ所すべてに一本ずつ設置しています。今後、周辺の状況なども含め研究し、複数の設置に向け検討します。誘導板は町田駅周辺で、町田第二小学校、芹ヶ谷公園の誘導板を三枚、町田第四小学校への誘導板を二枚設置しています。

問 市政モニターの導入がもたらす効果は何か。

岩崎副市長 導入の目的は、広く市民からの意見や要望を聞き、施策の立案や行政効果の測定などに活用して市政の効果的な運営を図ることです。市として迅速に対応が必要な事柄などに活用できると考えています。導入の効果は、モニター回答の早期集計、分析により市政に反映していくことができると考えています。

市民にやさしいまちづくり

熊沢あやり（自由民主党）

問 東京都や相模原市や近隣市では電子申告を始めたが町田はどうするつもりか。

税務部長 電子申告は利用者にも市にもメリットが大きいと見込まれるので種々の動向、状況を把握しながら積極的に検討を進めていきたいと思います。

問 町田駅前のまちづくりをどう考えているか。

市長 先日発足した地域活性化懇談会の中でJR町田駅側の街区について少しでも方向付けをしていきたいと考えています。

問 災害時の情報伝達は防災無線を使っているが、防音工事も進み、また大雨時など聞こえづらい場合がある。今後どうしていくつもりか。

総務部長 防災行政無線が聞こえにくい実態に対しては同報無線受信機能つきラジオやメール配信等を検討中です。

災害時の要援護者への支援対策

中山勝子（自由民主党）

問 地域ぐるみの支援体制と要援護者の把握をどのように図るのか。

岩崎副市長 関係機関と要援護者情報をどう共有するか、個人情報の管理も含めて検討したいと考えています。

問 安全確保、安否確認、避難所における支援マニュアルを早急に策定すべきでは。

岩崎副市長 年度内に要援護者支援マニュアル素案を作成します。これをもとに関係機関と情報交換を図りながら、地域で活用できるマニュアルにしたいと考えています。

問 地域のコミュニティ活動を高め、市民、地域との協働を推進するとの戦略目標に対し、どのように進めるのか。

市長 行政と協働して地域課題の解決を進めることを、地域の単位で協働で進めるというところが一番重要なのかなと思います。

町田市役所でパスポート申請を

いわせ和子（まちだ新世紀）

問 町田市役所でパスポートの申請の業務開設を。

岩崎副市長 旅券法改正に伴い、都と協議が整えば、市でも事務の一部を行うことが可能です。一方、制約事項もあり、さらに調査研究したい。

問 調整池の有効活用について市の考え方、今後の方針は。

町田副市長 地元の要望もあり、調整池としての機能と利用者の安全の確保を第一の主眼として適切に対応したい。

問 住宅用火災警報器設置に高齢者や障がい者の方たちを対象に補助金を。

健康福祉部長 現行では六五歳以上の独居、あるいは高齢者のみの世帯で通報や避難が困難な方、障害者手帳を所持し、火災発生の感知、避難が困難な障がい者が対象で、原則一割の自己負担で給付を受けることができます。

役所への提出書類について

山下哲也（公明党）

問 本庁や各担当部局への提出書類を市民サービス向上のために、各市民センターでの受け取りを要望する。

市民部長 今後、市民センターのサービスの拡充を進める中で各部と一層連携をとり、情報提供、あるいは概要説明をよく受けた上で、より一層の市民サービスの向上に努めていきたい。

問 中学校給食事業について情報化を推進すべきと考えるがどうか。

学校教育部長 中学校給食の現状ですが、二〇〇八年、二〇〇九年に各四校を開始する予定で、これで全中学校に導入が完了します。この導入の過程の中でさまざまな検討をし、例えばプリペイドカードをどうするかなども検討しましたが、情報化については今後一層研究をしていきたいと思います。

「入れ歯回収箱」の設置を望む！

三遊亭らん丈（まちだ新世紀）

問 町田市民の負担をいたずらにふやすことなく、市税を増収させる施策の具体案は。

岩崎副市長 来街者をふやし、商業の年間販売額をふやすため、観光、コンベンションの充実、交通対策等によって中心市街地活性化を図っていきます。

問 「入れ歯回収箱」を設置する動きが多くの自治体で見られるが、市税〇円で増収が見込める同箱の設置を望む。

岩崎副市長 市内の歯科医院の状況や他市の実施状況を調査し、実現の可能性を研究したいと考えています。

問 独居高齢者に対し埼玉県並みに、猛暑日等電話をかけて安否確認をしてはどうか。

岩崎副市長 安否確認の事業や見守りのネットワークを進める中で、独居高齢者の安否確認についても対応していきたいと考えています。